

女性研究者支援室

No. 2013.10.25

Support Office for Female Researchers



## 平成25年11月1日、松本キャンパス内に

# 州大学おひさま保育園」が開園します!



パス内の保育園がいよいよ11月1日に開園し、6日から 本格的な保育が開始されます。名称は「信州大学おひさ ま保育園」に決定し、保育業務の運営は従来通り一般財 団法人信和会に委託します。お預かりする子どもの年 齢は生後8週後~4歳未満で、定員はこれまでの60名 から90名に拡大し、中でも2歳児以下の定員が72名と なり、とても充実しています。 敷地面積 2486.42㎡

平成25年春より建設工事を行っていた、松本キャン

建物面積 980.64㎡

建物構造 木造1階建て

保育時間 7:30~18:00

(延長保育18:00~19:30)

園内は子どもたちの安全を第一に考え、玄関は完全オートロック になっており、セキュリティシステムも完備しています。各保育室に は床暖房・冷房を完備し、また24時間換気システムが稼動している ため、空気が停滞することなく、1年を通じて子どもたちにとって快 適な環境になっています。トイレは各保育室ごとに設けているため、 トイレトレーニング中の子でも安心して利用できます。約121㎡の遊 戯室には、天窓がついており、晴れた日には沢山の光が差し込みます。 1日の大半を過ごす園舎内は、子どもたちを取り巻く環境と安全に配 慮した施設になっています。

広い園庭には大きな砂場や築山、遊具を完備しており、子どもた ちが走り回ったり、どろんこ遊びをしたりすることができます。

開園式は11月1日(金)に行い、午後は一般教職員向けの内覧会を 予定しています。(要予約)

詳細は男女共同参画のウェブサイトにてお知らせします。

アドレス http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/2013/10/post-17.html 開園式の様子や、保育園の詳細は、次号でお知らせします。

お楽しみに!







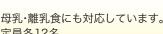
#### ラスの紹介







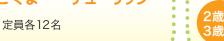














たんぽぽ

定員2歳24名 3歳18名

## キャリア形成支援セミナーを 開催しました。

平成25年10月15日、長野(工学)キャンパス総合研究棟1階大会議室において、キャ リア形成支援セミナーを開催しました。このたびのセミナーは、科学を解説し、研究 の面白さを伝えるコミュニケーションスキルを学ぶことを目的とし、日本科学未来館 科学コミュニケーターの大崎章弘氏を講師にお招きして開催しました。



## 第5回 長野(工学)キャンパス

## 『理系先端技術を社会につなげるコミュニケーション』

学部生、大学院生、教職員合わせて103名が出席し ました。

はじめに、松岡英子女性研究者支援室長から「10月 26日(土)に開催する工学部オープンキャンパスにおいて、 多くの女子高校生に興味を持ってもらえるようなコミ ュニケーションスキルを学ぶためにも、大変良い機会 だと思います。充実したセミナーになることを期待し たいです。」と挨拶がありました。

前半の講義では、科学コミュニケーションの歴史や 背景について学びました。

後半は時間感覚を正しく持てているかを試すため、各々 の感じる「1分」を計測しました。思っていたより長いと 感じたり、逆に短いと感じる方が多くいたようです。次に、 「1分専門用語説明」の演習を、グループ毎に取組みました。 グループは、友人同士ではなく、また、研究室が同じ にならない様に3~4人で組み、専門分野外の人に対して、 いかに分かりやすく時間内に伝えるかを実践しました。 まずは、各自伝えたい専門用語と伝える対象者を決めて、 2分間で準備、その後、グループ内で各々1分間で発表 し、フィードバックの時間を2分間設けました。学生も 先生方も一緒になって、より分かりやすく伝わるよう にと言葉選びに苦戦しながらも、工学部らしい「専門用語」



大崎 章弘氏



を一生懸命伝えていました。

普段の授業では体験できないような「1分間」を過ごせ たのではないでしょうか。

セミナー終了後も、講師の大﨑氏に「もっと上手に自 分の考えを伝えるためにはどうしたら良いの か。」などの質問をする学生がいました。100 人を超える大きなセミナーにも関わらず、グ ループワークなどを取り入れたセミナー構成 でしたので、参加者にとっても「コミュニケー ションスキル」について深く学べる良い機会に なりました。



「自分のプレゼンを見直す良い機会となりました。」

「1分間の短さに驚きました。そして、伝えることの難しさを知ることができました。」 「もう少し『伝える』ということについて学びたいと思いました。」

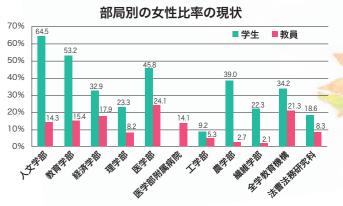
「自分と違う分野の人に専門用語を伝える難しさを実感し、今後の伝え方を考える 機会になった。」など

※「第4回キャリア形成支援セミナー」は11月13日(水)に延期になりました。開催報告は次号。

## 男女共同参画推進のための学部等巡回説明会が終了しました

本学教員の意識改革および男女共同参画の推進の ため、渡邉理事、松岡支援室長が各学部等より教授 会前の時間を頂戴し、「信州大学における男女共同参 画 ~女性教員比率向上のために~」をテーマに説明 を行いました。6月20日から9月9日まで11カ所を 回り400名の教員が出席しました。

- 6月:大学院法曹法務研究科、繊維学部
  - 人文学部、全学教育機構
- 7月:医学部(2回)、経済学部
- 9月:理学部、教育学部 工学部/大学院経済・社会政策科学研究科 イノベーション・マネジメント専攻



- 研究所所属教員を含めている
- ※学生には、学部生と大学院生を含めている。
- ※全学教育機構の学生数は、平成25年度の入学者数。 ※学生数は平成25年5月1日現在。教員数は平均25年6月1日現在の数値。



事業説明をする渡邉理事と 松岡支援室長













## 長野工業高等専門学校にて講演が行われました



講演する松岡英子女性研究者支援室長

9月19日(木)長野 工業高等専門学校に おいて、長野市との 高等教育連携事業の 一環として、松岡英 子女性研究者支援室 長の講演が行われま した。「信州大学にお ける男女共同参画の

推進」のテーマで、信州大学の取組みと共に、男女共同参 画に取組む社会・経済的背景、大学における取組みの必 要性などについて具体例を交えながらの1時間半の講演に、 教員および事務職員が多数参加し、熱心に聴講しました。

国立高等専門学校機構は平成24年度に文部科学省の 女性研究者研究活動支援事業に採択され、全国51校で取 組みが行われ、男女共同参画宣言、行動計画を策定、ホ ームページを開設して、事業に取組んでいます。51校の

女性教員比率には大きな差がありますが、長野高専の女 性教員比率は5%程度と低いことから、高専機構から積 極的な取組みが期待されています。黒田孝春校長からは、 信州大学と連携して男女共同参画を推進していきたいと 挨拶もあり、長野県の男女共同参画推進のために大学・ 学校間の連携が求められます。



講演の様子

# 平成25年度 男女共同参画に関するアンケート調査ご協力のお願い





信州大学が男女共同参画を推進する中で、平成23年度からの本学の取 組みの周知状況と評価及び今後の活動の方向性を把握するために行うア ンケートです。前回、平成22年度に実施した調査との比較や今後の活動 に役立てていきます。

お手元に届くアンケート調査票に回答いただきましたら、 各部局の庶務担当係にご提出ください。 みなさまのご協力をお願いします。

締 切 日 平成25年11月8日(金)まで

象 本学の教職員 扙

提出先 各部局の庶務担当係

問い合わせ 女性研究者支援室



# 平成26年度 大学入試センター試験における

#### 開催内容(予定)

■日程 平成26年1月18日(土)、19日(日)

■会場 松本キャンパス 長野(教育)キャンパス 他

※他キャンパスは、場所の確保と当日の対応 が出来る態勢が整った場合に実施する予定 です。要望がありましたらお寄せください。

問い合わせ 総務部人事課人材育成グループ 内線:811-2127,2140

詳細は決まり次第ご案内します。



試験時の一時保育の様子

#### お問い合わせ

#### 信州大学 女性研究者支援室(SuFRe)

分室(総務部人事課内) TEL 0263-37-2167 FAX 0263-37-3314 内線 811-2127

長野分室(教育学部内)

E-mail: sufre@shinshu-u.ac.jp

信州大学 スフレ

検索

開室時間 9:00~17:00(月~金)

